

# バス運転手がスマホの「ながら運転」

## ツイッター投稿映像で発覚

## 一歩間違えば、重大事故！

## 国交省 聞き取りの結果次第で、特別監査を実施

2016年3月24日（木）20時2分

バス事故の危険が叫ばれる中で、ツアーバスの運転手が、スマートフォンを手に「ながら運転」していたことがわかった。

バスの外から撮られていた映像が、発覚のきっかけとなった。

その運転席では、驚くことに運転手がスマートフォンを操作していた。

その手は、ハンドルを握っておらず、視線もスマホに向けられたまま。事態は、映像がツイッターに投稿されたことで発覚した。

ツアーを主催した旅行会社と、運転手が勤務するバス事業者に話を聞いた。

バスツアーを主催した旅行会社の担当者は「常識では考えられないこと。契約するバス会社に対し、乗務に対する指導を強く要請している」と話した。

運転手が勤務するバス事業者は「安全管理には、いっそうの努力をしていきます。いろいろご迷惑をかけて、申し訳ございませんでした」と話した。

バスは、3連休の3月20日午前9時ごろ、乗客36人を乗せ、東京都内から静岡方面に向かって  
いるさなかだった。

幸い、事故はなかったものの、痛ましいバスの事故が相次ぐ中での、信じがたい行動。

運転中の「ながらスマホ」は、道路交通法で禁じられた危険な行為。

今回のスマホ運転も、1歩間違えれば、大事故につながりかねない。

問題となったバスとは違う一般車の助手席で、カメラを取りつけてスマホを見てみると、前方の車は、ほとんど確認できなかった。

国土交通省は、運転手が勤務する都内のバス事業者に、事実の確認を求めている、聞き取りの結果次第で、特別監査を実施するかどうか判断する方針。

